



2022年5月

## ビジネス・イノベーション研究所 兼任研究員 活動報告

### (1) 望月 徹

●望月研究室(地域・観光マネジメント研究)の3年制のゼミ活動の一環として、神楽ドームを有し年間150日以上の中楽公演を行っている、広島県安芸高田市の松田祐生 商工観光課長をお迎えし、中楽甲子園、東京公演、パリ公演など中楽によるまちづくりの取組みを伺った(4月26日)

中楽ドームを有し定期公演を行う自治体は全国的にも珍しい。

5月14日、同市初の大阪公演にゼミとして参加し、特産品の販売や、中楽衣装の着付け体験を支援したほか(堤谷、西野、西井、福田)、安芸高田市の石丸伸二市長や同市出身で中楽アンバサダーを務めるケミストリーの堂珍嘉邦さんとも交流した。

講演の様子は、InstagramなどSNSで発信した。

また、5月31日再度、松田課長をお迎えし、大阪公演の定期化、中楽の後継者育成、Z世代へのプロモーション等活性化策を検討した。





## (2) 西村 順二

●西村順二研究室の3・4年ゼミ生が、2022年度神戸豚饅サミット事務局と打ち合わせ会議を行いました。

2022年5月17日(火) 12:00-13:00 甲南大学岡本キャンパス 361教室

2022年度も経営学部西村順二研究室は神戸豚饅サミットに協力をします。

4年ゼミ生は例年通りに創作豚饅を企画し、神戸豚饅サミットの当日に販売を行います。また、今年度より3年ゼミ生も参画し、SNS等を活用したオンラインによるコミュニケーション戦略のコンテンツ作りや豚饅サミット事務局開設の「包通信」を活用して展開していきます。

●西村順二所長が、若手経営者のための経営講座で、研究発表を行いました。

「同質的か、異質的か、ナノを大切にすべきかーDXと地域ビジネスー」

2022年5月19日(木) 7:00-9:00 ポートピアホテル ダイヤモンドの間

西村順二BI研究所長が、早朝のパワーモーニング(企業経営者の勉強会)において、企業経営における重要な視角(同質性と異質性)についての考察、そして最近のDXの現状とその企業経営への援用とそのビジネスへ親和性について研究報告を行いました。

●西村順二BI研究所長が、日本フードシステム学会・日本農業市場学会の共催による研究において、コメンテータを務めました。

2022年5月21日(土) 13:00-17:00 東京豊洲市場管理棟 講堂

西村順二BI研究所長が、日本フードシステム学会と日本農業市場学会の共同開催による研究会に出席し、4人研究報告に対するコメンテータを務めました。当日は学会員、東京都関係者、東京大学や中央大学の学生等70名の参加がありました。



●西村順二 BI 研究所長が日本商業学会第 70 回全国研究広告大会の統一論題テーマセッションで学会発表を行いました。

「地域における地場産業の活性化と地域ブランド醸成への可能性

－神戸スイーツ事例－

2022 年 5 月 29 日（日）小樽商科大学開催校（オンラインによる Zoom 開催）

神戸地域の洋菓子産業を対象に、地域産業の活性化とそのグローカリティに関する調査研究結果が発表された。また、12 年継続されている「ひがしなだスイーツめぐり」を題材にしたケーススタディの実証結果についても研究報告が行われた。